

# 教育用語辞典

「教育用語辞典」第14回目です。今回も二者択一問題です。以前、大いに話題になった「生きる力」ですが、新学習指導要領でもその理念は変わりません。職員室で話題にすれば一目置かれそうです。

## 【中1ギャップ】

レベル★

【ちゅういちぎゃっぷ】

A 中学校に入学した直後の1年生が、教科担任制や生徒会活動など小学校と異なるシステムにとまどってしまい、2年生や3年生と交流がうまくできず、両者の間に溝（ギャップ）ができたような状態になってしまつこと。

B 6年生から中学1年生になると、学習内容が難しくなったり教科担任制になったり、学級内での人間関係作りが難しくなったりすることから、その変化にじじえずに、不登校になったりいじめが増えたりすること。

## 【生きる力】

レベル★★★

【いきるちから】

A 「基礎・基本を身につけ、いかに社会が変化しようと、自ら課題を見つけ、主体的に判断し、行動し、より良く問題を解決する資質や能力」、「自らを律しつつ、他人と協調し、他人を思いやる心や感動する心などの豊かな人間性」、「たくましく生きるための健康や体力」など。

B 「基礎・基本を身につけ、いかに社会が変化しようと、自ら課題を引き受け、主体的に解決し、自分の生活に生かそうとする資質や能力」、「自らを省みて自分の立場を自覚し、他人との共

生の中で他人を思いやる豊かな人間性」、「たくましく生きていくための知恵」など。

## 【道徳教育推進教師】

レベル★★★★★

【どうとくきょういくすいしんきょうし】

A 新学習指導要領の重点のひとつである道徳教育の充実を受けて、各学校で道徳教育を効果的に進めるために特別に配属される教員の名称。専門的な知識を生かして、全体計画や年間指導計画の作成を行う。

B 新学習指導要領に明記された、道徳教育の推進を主に担当する教師のこと。道徳教育の全体計画と年間指導計画の作成を中心となつて行うほか、指導体制の充実等、様々な役割が期待されている。



【解答】 B・A・B